

かめおか子ども新聞…知っていますか？

「子どもが書いて大人が読む」をテーマにした「かめおか子ども新聞」が注目を集めています。子ども記者がまちで取材した内容を新聞にまとめ、亀岡市内で毎月発行しています。楽しみにする読者も多く、人気コーナー「はい！こちら子ども記者相談室デス！」は会員制交流サイト（SNS）で話題となり、取り組みの様子がテレビなどで紹介されました。地元密着の記事や地域の人のふれ合い、素朴ながらも、時には厳しい視点が人気の秘密といえます。

■疑問次々「盲導ネコとかいるのかな」

この日は、発行責任者の竹内博士さんの引率で、小学4～6年の男女計4人が亀岡市の関西盲導犬協会・盲導犬総合訓練センターを訪れました。

「よろしくお願いします」。取材はあいさつから始まります。子ども記者は、センター職員から施設や盲導犬の仕事聞き、質問します。「ここに盲導犬は何頭いますか」「初めてセンターに来たとき、どんな感じでしたか」

質問が得意な子やメモを取るのが得意な子もいて、上手に役割分担します。取材中、新しい疑問がわいてきます。「盲導犬になれなかった犬はどうなるの？」「犬アレルギーの人はどうするんやろ。盲導ネコとかいるのかな」。率直な疑問を次々にたずねます。

子ども記者が取材する間、竹内さんは少し離れて見守ります。自主性にまかせ、口出ししないように心がけているそうです。

子ども記者は目を閉じて盲導犬と一緒に歩いてみました。「意外と力が強いなあ」「安心感がある」と口々に感想を言い合います。「体験することで学べることもある」と竹内さん。2時間ほど取材し、「ありがとうございました」と元気にあいさつして終了しました。

子ども記者は「地域のことがよくわかるし、人と話せて自分のためにもなる」「新聞を読んだ人から、いつも読んでるよと言われてやりがいがある」と、新聞作りの楽しさを話していました。

■子ども目線で悩み解決、政治や時事問題も

大人の悩みを子どもが解決する「はい！こちら子ども記者相談室デス！」は、人気コーナーです。大人から寄せられた質問に、子ども記者が集まって座談会形式で回答を考えます。

「5歳の娘が言うことを聞きません」。寄せられた親からの相談に「言うこと聞かへんのはあたりまえ。子育てってそういうもんやんか」「お母さんにかまってほしいだけとちゃう？」

普段、大人に対して思っていることや子どもならではの意見を素直に出し合います。ほかにも「男と女はどっちが楽？」「モテる秘訣を教えて」など相談内容はさまざま。座談会は熱気にあふれて、政治や時事問題について話し合うこともあります。

「相談室は子どもが自分で考え、主体的に意見を発信できる貴重な機会」と竹内さん。他人の意見を聞き、自分の思いを伝える力をつける場所になっているようです。

■子どもの興味、自主性を尊重

子ども記者は、取材を通して、早くから大人の世界に触れ、視野を広げることができます。最近の子どもは見知らぬ大人と会話する機会が減っていますが、取材できまざまな大人と関わり、コミュニケーション力や危険を見極める目を養うことができます。

子ども記者と新聞を作る上で一番重要なのは、子どもの興味や自主性を尊重することです。雑談の中から子どもの興味を引きだし、取材テーマを考えます。

最初は「何時にどこへ行って、誰に話を聞いて」と、スケジュールをきっちり立てていましたが、それでは子どもは面白くない。成り行きに任せて取材へ行くとうまくいきました。



例えば、能舞台の取材で出かけたときのこと。子どもたちは道で見つけたダンゴムシに熱中して動かなくなっていました。結局その日は、能の取材を短縮してダンゴムシの観察をしました。新聞作りでは、大人の考えを押しつけるのではなく、子どもの興味を大切にする必要があります。

「子どもたちには新聞作りを通じて、企画力、調整力、質問力、礼儀などの力を身につけてほしいと願っています。」

はい！こちら子ども記者相談室デス！

【第 99 回】こんな彼はヒモですか？

彼氏がうちに転がり込んで出ていきません……。仕事を辞めたから転職するまでの間だけ住ませて、ということで OK しました。はじめる前はちょっと結婚前に同棲気分～？と浮かれていたのですが、一向に転職する気配がありません。というか、仕事を探している気配もない。家事を手伝うわけでもなく、家賃や生活費を入れるわけでもなく、段々ムカムカしてきました。「仕事どう？」と聞いたら、「うーん、探してはいるんだけどね」と言って、友達のイベントとやらに出かけていきました。これってヒモなのでしょうか。このままでは結婚なんて遠い夢です。いい加減にして!!

子ども記者の回答

その人のことを本当に好きなん？ 本当に好きだったら、「いい加減にして！」という言葉は出てこないと思います。一緒に仕事を探してあげたらどうですか？ 結婚したいなら夫婦ってそうやって助け合うんじゃないですか？ 今はたぶん仕事決まらなくてしんどいだけちゃう？ 逃げてるんやできっと。僕らが夏休みの宿題をやらないとアカンってわかっていながら後回しになるのと同じだと思います。

【第 89 回】子ども同士のケンカはどこまで見守る!?

4歳と2歳の男の子の2児の母です。子ども2人共、可愛い盛りですが、やんちゃでよくケンカして最近対応に困ってます。まだ兄弟ゲンカだからよいものの、友達にまで乱暴になってしまったら……と考えてしまいます。小さい子どものケンカはどこまで見守ってあげたらいいですか？

子ども記者の回答

死ぬまでやらせる。途中でとめたりするから「いつか絶対にもっとやってやる！」って思うねん。もうとことんやったらいいじゃないですか。

【第 93 回】バツイチです。最適なパートナーを探すには？

半年前離婚しました。原因はお金のことと、性格の問題です。私が焦って結婚して失敗したのもあるので反省しました。でもこの先一生独りなんて耐えられません。仕事は頑張りますがいつかは再婚して子どもが欲しいです。出会いの場はあるのですが、なかなかうまくいきません。理想は高くない方です。私にとって最適なパートナーができるにはどのようなことを心がけて生きていけば良いのでしょうか?!

子ども記者の回答

綺麗でいる、とか、性格よくいるとか、いろいろあるかもしれませんが、笑ってることだと思います。やっぱり笑顔がない人は魅力的じゃないし、なんか嫌やし。1人で寂しいかもしれませんが笑顔を心がけてください。

【第 96 回】我が子がいじめに遭っている場合、どう接すればいい？

小6の娘がいじめに遭っていると思います。小6になってからあまり友達と遊ばなくなりましたし、持ち物がよく汚れています。親としては心配でたまらないのですが、「最近学校どう？」と聞いても、「別に、普通」とそっけない言葉しか返ってきません。あまり問い詰めるのもよくないのかなと思い、担任の先生にこっそり相談したものの、2年目の若い教師ということもあり、頼りにならないんです。「(いじめっ子を)個別に呼び出して対応します」と言っていたものの、改善された様子もありません。こういうとき、親は子どもに対してどう接するのがいいのでしょうか。

子ども記者の回答

いろいろ問い詰めたらダメやと思う。だって基本的にそういうの親に一番バレたくないし。言いたくない。でも本当は聞いてほしいし助けてほしい。学校は頼りにならない。友達の親とか知り合いのお兄ちゃんとかなら本当はいじめられてること話せるかも。とにかく、学校と親には本当のこと言えないよ……。改善されないなら学校にもう一度怒鳴り込めばいいと思います。

【第 97 回】物忘れがどんどん激しくなって心配です。

還暦を迎えて、ますます物忘れが激しくなった気がしています。孫のしているアニメを何度一緒に見ても、なんていうアニメか覚えられません。芸能人の名前はもちろん、近所の人の名前もパッと出てこないことがあります。夫とは、「あれどうなったっけ?」「あれって何?」「えーっと、あれ、あれ……」という会話を一日に何度も繰り返しています。老人性痴呆症なのではないかと心配です。どうしたらいいでしょう。

子ども記者の回答

とりあえずは病院に行ったらどうですか？ それで大丈夫なのだったら脳みそがガタがきてと思うので、人間の避けられない道だと思います。こまめにメモに書いておくのがいいと思います。

【第 77 回】大人だけど病院に行くのがイヤ！ どうしたら？

年なのでいろいろ気になるころはあるのですが、悪いところが見つかる怖いので病院に行くのがイヤです。特に歯医者と婦人科。どうしたら行く気になれますか？

子ども記者の回答

病院に行ったら自分にご褒美は？ 有馬温泉とかお買い物行って好きなもん買えるとか。国もそういうことに税金使ってほしい。注射があるから病院って嫌。もっと刺さなくてもいい注射とか開発してほしい。そもそも病院の雰囲気楽しくないから、ベッドはゴージャスな革のやつにして先生もナースもヒョウ柄とかを着たらいいと思います。ほんで、大阪のおばちゃんみたいな話し方やったら楽しいし、病院行きたくなくなるんちゃうかな？ あと何秒で終わるかをちゃんと表示したらいつ終わるかがわかるし安心できる。